【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【公表番号】特表2006-501354(P2006-501354A)
【公表日】平成18年1月12日(2006.1.12)
【年通号数】公開・登録公報2006-002
【出願番号】特願2004-541759(P2004-541759)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ 101/00 (2006.01)
Ｃ０８Ｌ 23/08 (2006.01)
Ｃ０８Ｌ 23/10 (2006.01)
Ｃ０８Ｌ 53/02 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ 101/00
Ｃ０８Ｌ 23/08
Ｃ０８Ｌ 23/10
Ｃ０８Ｌ 53/02

【手続補正書】
【提出日】平成18年9月8日(2006.9.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
Ａ）７５～９９重量パーセント（熱可塑性ブレンド組成物の全重量を基準にして）の熱可塑性ポリオレフィン組成物であって、
（ａ）５０～１００重量パーセントのポリプロピレンもしくはＨＤＰＥまたはそれらの混合物と；
（ｂ）０～５０重量パーセントの０．９１３０ｇ／ｃｍ^{3}以下の密度を有するエチレン／α－オレフィンインターポリマーと；
を含む熱可塑性ポリオレフィン組成物と；
Ｂ）１～２５重量パーセント（熱可塑性ブレンド組成物の全重量を基準にして）のエクステンダーであって、成分Ａ）（ｂ）以外のエチレン／α－オレフィンインターポリマーを含み、かつ
（ａ）少なくとも０．８５５であり、そして０．８９９ｇ／ｃｍ^{3}以下の密度と；
（ｂ）３５０°Ｆにおいて少なくとも５００ｃＰのブルックフィールド粘度と；
を有するエクステンダーと；
を含む、熱可塑性ブレンド組成物において、
該熱可塑性ブレンド組成物のメルトインデックスが、該熱可塑性ポリオレフィン組成物のメルトインデックスに対して少なくとも５％増大されている、熱可塑性ブレンド組成物。
【請求項２】
Ａ）前記熱可塑性ポリオレフィン組成物が、８０～９８重量パーセント（熱可塑性ブレンド組成物の全重量を基準にして）の量で存在し；しかも
Ｂ）成分Ａ）（ｂ）以外のエチレン／α－オレフィンインターポリマーを含む前記エクステンダーが、２～２０重量パーセント（熱可塑性ブレンド組成物の全重量を基準にして

）の量で存在し、かつ
（ａ）０．８９０ｇ／ｃｍ^{3}未満の密度と；
（ｂ）３５０°Ｆにおいて少なくとも５００ｃＰかつ７０，０００ｃＰ未満のブルックフィールド粘度と；
を有し；
さらに前記熱可塑性ブレンド組成物のメルトインデックスが、前記熱可塑性ポリオレフィン組成物のメルトインデックスに対して少なくとも１０％増大されている、請求項１に記載の熱可塑性ブレンド組成物。
【請求項３】
Ａ）前記熱可塑性ポリオレフィン組成物が、８５～９７重量パーセント（熱可塑性ブレンド組成物の全重量を基準にして）の量で存在し；しかも
Ｂ）成分Ａ）（ｂ）以外のエチレン／α－オレフィンインターポリマーを含む前記エクステンダーが、３～１５重量パーセント（熱可塑性ブレンド組成物の全重量を基準にして）の量で存在し、かつ
（ａ）０．８８０ｇ／ｃｍ^{3}未満の密度と；
（ｂ）３５０°Ｆにおいて少なくとも５００ｃＰかつ４０，０００ｃＰ未満のブルックフィールド粘度と；
を有し；
さらに前記熱可塑性ブレンド組成物のメルトインデックスが、前記熱可塑性ポリオレフィン組成物のメルトインデックスに対して少なくとも１５％増大されている、請求項１に記載の熱可塑性ブレンド組成物。
【請求項４】
成分Ａ）の前記エチレンポリマーが、実質的線状エチレン／α－オレフィンコポリマーである、請求項１ないし３のいずれかに記載の組成物。
【請求項５】
前記実質的線状エチレンインターポリマーが、０．８６０～０．８８０ｇ／ｃｃの範囲の密度を有する、請求項４に記載の組成物。
【請求項６】
請求項１又は４に記載の組成物を含む、フィルム、繊維、コーティング、または成形品。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００８６】
エクステンダー１～３のブルックフィールド粘度の測定に使用した方法：

操作パラメーター

パラメーター	説明
計測器	ブルックフィールドDVII+粘度計
スピンドル	SC-31
サンプルチャンバー	HT-2DB-100アルミニウム
温度	177℃（350°F）
トルク	50～70%
ヒートコントローラー付きサーモセル	
剪断速度（ｒｐｍ）	50～70%の間のトルク値を与える剪断速度
サンプルの量	スピンドルを沈める前にチャンバーの上端から１～１．５インチ下の位置まで溶融体でサンプルチャンバーを満たすのに十分な量。

計測器が安定な読取り値を示すようになった後で粘度の読取りを行う。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１６】
実施例6

実施例6では、0.89g/cm^{3}の密度および230℃で35グラム/10分のメルトフローインデックスを有するポリプロピレンホモポリマーから調製されたTPO配合物にエクステンダー1～3を添加した。ポリプロピレンホモポリマーに対して、さまざまな量のエラストマーEL1（これは、0.870cm^{3}の密度および190℃で5.0グラム/10分の公称メルトインデックスを有するエチレン/1-オクテンコポリマーであった。ENGAGE（商標）8200としてDu Pont Dow Elastomersから市販されている）およびエクステンダー1～3を添加した。別段の記載がないかぎり、実施例6で用いられる「I2」という用語は、ASTM D-1238、条件190℃/2.16kgを用いて測定されるg/10分単位のメルトインデックスI2を意味する。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１８】

【表８】

表　６

実施例6のTPO／エクステンダーブレンドの組成

実施例＃	全ブレンド I2*（g／10分）	PP C700-35N（全ブレンドを基準にした重量%）	エラストマー＋エクステンダーの合計（全ブレンドを基準にした重量%）	EL1（エラストマー＋エクステンダーを基準にした重量%）	エクステンダー＃	エクステンダー（エラストマー＋エクステンダーを基準にした重量%）
6A	27.90	70.0	30.0	20.4%	1	9.6
6B	26.46	77.5	22.5	18.5%	2	4.1
6C	29.51	77.5	22.5	16.9%	3	5.6
6D	27.47	77.5	22.5	16.9%	1	5.6
6E	27.93	70.0	30.0	22.5%	3	7.5
6F	27.45	77.5	22.5	18.5%	3	4.1
6G	27.75	77.5	22.5	18.5%	1	4.1
6H	27.54	77.7	22.5	15.3%	1	7.2
6I	28.3	77.5	22.5	15.3%	2	7.2
6J	27.79	70.0	30.0	24.6%	2	5.4
比較例6	24.18	70.0	30.0	30.0%	NA	NA

* 「I2」という用語は、ASTM D-1238、条件230℃/2.16kgを用いて測定されるg/10分単位のメルトインデックスI2を意味する。